

第4回新型コロナウイルス感染症による 医療・介護施設入所中の認知症者に対する 影響調査

研究協力をお願い

はじめに

新型コロナウイルス感染症に対する臨時的・特例的な取扱や対応にあたっての公費支援も次々と終了し、インフルエンザなどと同様、日常的な感染症の一つとみなされるようになってきました。

一方で、感染の波も引き続きみられており、感染者数が増加した時には医療・介護施設ではクラスターが多くみられています。今後も同様の状況が続くのではないかという専門家の意見もあります。

そうした中、今後のコロナウイルス感染対策を考え、感染症に強い医療・介護システムの構築を目指すため、経験したこと、工夫したことを共有することは重要であると考えています。

目的

本調査は新型コロナウイルスが5類に移行した2023年5月から現在に至るまでに、様々な医療・介護施設での認知症の方の実態やニーズ、さらに実施されている取組について調査することを目的として実施されます。

調査主体

広島大学大学院医系科学研究科共生社会医学講座
一般社団法人 日本老年医学会

調査対象

高齢者医療・介護施設

調査期間

2024年月日 () ~ 月日 (金)

本調査は以下の団体のご協力を得て広くご案内頂いております。

結果につきましては、認知症高齢者が感染拡大予防を実践する上でどのような支援が適切か検討する基礎資料として活用させていただきます。本調査の結果をまとめたものは後日日本老年医学会・広島大学ホームページ上で公開させて頂くとともに、各団体にご報告させていただきます。また、結果を医学雑誌などで発表させて頂くことがあります。これらの場合でも、個別の施設名や個人情報は一切公表されません。

ご多用中恐れ入りますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

広島大学大学院医系科学研究科
共生社会医学講座
石井伸弥

〒734-8553 広島県広島市南区霞1-2-3

TEL・FAX：082-257-2018

E-mail：sishii76@hiroshima-u.ac.jp

* 必須の質問です

施設情報について

貴施設についての情報についてあてはまるものをお答えください。

回答にあたってのお願い

複数の団体から重複して調査のご案内が届く事もありますが、**ご回答は一施設で一回のみ**行って頂きますようお願いいたします。(一法人内に**複数の施設がある場合には、各施設ごとにご回答**をお願いします。)

回答に必要な時間は**10分程度**となっております。

回答頂いた内容によっては、いくつか質問をスキップする事があります。(スキップされた質問については、御回答頂く必要はございません。)

なお、入力の際にブラウザの「前に戻る」ボタンは使用しないで下さい。

1. 問1-1) 施設分類についてお答えください。*

1つだけマークしてください。

- 認知症治療病棟
- 老人性認知症疾患療養病棟
- 精神科療養病棟
- 医療療養病棟
- 老人短期入所施設
- 養護老人ホーム
- 特別養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 認知症高齢者グループホーム
- 生活支援ハウス
- 介護老人保健施設
- 介護療養型医療施設
- 介護医療院
- 小規模多機能型居宅介護事業所
- 看護小規模多機能型居宅介護事業所
- 介護付き有料老人ホーム
- 住宅型有料老人ホーム
- サービス付き高齢者向け住宅
- その他: _____

2. 問1-2) 貴施設の所在する都道府県についてお答えください。*

1つだけマークしてください。

- 北海道
- 青森県
- 岩手県
- 宮城県
- 秋田県
- 山形県
- 福島県
- 茨城県
- 栃木県
- 群馬県
- 埼玉県
- 千葉県
- 東京都
- 神奈川県
- 新潟県
- 富山県
- 石川県
- 福井県
- 山梨県
- 長野県
- 岐阜県
- 静岡県
- 愛知県
- 三重県
- 滋賀県
- 京都府
- 大阪府
- 兵庫県
- 奈良県
- 和歌山県
- 鳥取県
- 島根県

- 岡山県
- 広島県
- 山口県
- 徳島県
- 香川県
- 愛媛県
- 高知県
- 福岡県
- 佐賀県
- 長崎県
- 熊本県
- 大分県
- 宮崎県
- 鹿児島県
- 沖縄県

3. 問1-3) 貴施設の入院・入所・入居（以下入所とする）者数の定員についてあてはまるものを一つお選び下さい。 *

1つだけマークしてください。

- 19人以下
- 20～39人
- 40～59人
- 60～79人
- 80～99人
- 100人以上

4. 問1-4) 現在の入所者数のうち、認知症の診断がついている、あるいは認知症と思われる方（以下認知症入所者とする）のおおよその割合についてお答えください。 *

1つだけマークしてください。

- 0～25% (おおよそ4人に1人以下)
- 26～50% (4人に1人よりは多いが半数よりは少ない)
- 51～75% (半数より多いが4人に3人よりは少ない)
- 76～100% (おおよそ4人に3人以上)

クラスター発生について

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した令和5年5月から現在までのクラスター発生についてあてはまるものをお答え下さい。

5. 問2) 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した**令和5年5月から現在までの期間**において、貴施設においてクラスターが発生したことがありますか。（おおむね5人程度の感染者が発生したものを「クラスター」とします。） *

1つだけマークしてください。

- はい
- いいえ（問6-1に進みます） 質問19にスキップします

クラスター対応について

発生したクラスターに対する対応についてお答えください。

6. 問3-1) クラスター対応にあたって苦慮した点についてお答えください。 *
- (複数回答可)

当てはまるものをすべて選択してください。

- 行政（保健所等）との連携が円滑に進まなかった
- 感染予防用のマスクや消毒液、防護服が十分準備できなかった
- 介護用品や食料などの配送が滞って不足してしまった
- （施設の構造上の理由などで）ゾーニングが困難だった
- ゾーニングが機能せず感染者とそれ以外の人との接触が続いた
- 医療ひっ迫を理由として専門医療機関への入院が出来ず、自施設での対応となった
- 感染がなかなか収束せず、新規感染が長期間発生し続けた
- 職員への感染の恐れ、あるいは感染のため、職員が出勤できず職員不足となった
- 職員の精神的な負担が大きかった
- （超過勤務など）職員の身体的な負担が大きかった
- 帰宅できない職員の宿泊先の確保に苦労した
- 他の入所者やその家族等への説明が困難だった
- 外部からの苦情など風評被害対応が必要だった
- 特に苦慮した点はなかった
- その他: _____

7. 問3-2) クラスター発生時、感染者に認知症入所者は含まれていましたか。 *

1つだけマークしてください。

- はい
- いいえ（問6-1に進みます） 質問19にスキップします

感染した認知症入所者について

クラスター発生時、感染した認知症入所者への対応についてお答え下さい。

8. 問4-1) 感染した認知症入所者への対応で苦慮した点についてお答えください。 (複数回答可) *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 徘徊などのために隔離が困難であった
- 認知症症状や行動・心理症状の悪化がみられた
- 認知症を理由として入院が断られたり、移送が困難であった
- マスク着用など感染拡大予防に協力が得られなかった
- 感染への恐れのため、対応する職員の確保が困難であった
- ほぼ無症状だった、あるいはすぐに専門施設に入院したため、特に苦慮した点はなかった
- その他: _____

9. 問4-2) 対応にあたって工夫した点についてお答えください。 (複数回答可) *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 職員の対応時間を増やして繰り返し説明し、理解を求めた
- モニターやセンサーマットなどを活用して行動を把握した
- 担当職員を定めて、一対一で個別対応を行った
- 居室ドアなど見えやすいところに注意を促すサインやポスターを貼った
- 特に工夫したなかった
- その他: _____

10. 問4-3) 施設内で療養した新型コロナウイルスに感染した認知症入所者について、隔離されている間、重症化予防のための薬剤投与や症状に対する治療など必要な医療は提供されていましたか。あてはまるものをすべて選んで下さい。 (複数回答可) *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 必要な医療は提供されていた
- 医療の提供に制限があった (往診医師が見つからない等)
- 重症化リスクが低い、あるいは無症状もしくは軽症状だったため、医療は必要なかった
- 分からない
- その他: _____

11. 問4-4) 前問で「必要な医療は提供されていた」と答えた施設にお尋ねします。その医療は誰によって提供されましたか？(複数回答可)

当てはまるものをすべて選択してください。

- 主治医(平時からの医療提供者と同一)
- 主治医以外(併設された医療機関の医師)
- 主治医以外(嘱託医など地域の施設関係医師)
- 主治医以外(自治体や関連団体による感染症対策の応援チーム)
- 分からない
- その他: _____

12. 問4-5) 感染した認知症入所者に対応する際に、身体拘束を行わざるを得ないことがありましたか。(身体拘束には居室に鍵をかけることや向精神薬を普段より多く内服して頂くことも含めます。)*

1つだけマークしてください。

- はい
- いいえ(問6-1に進みます) 質問19にスキップします

感染した認知症入所者への身体拘束について

クラスター発生時、感染した認知症入所者に対して実施した身体拘束についてお答え下さい。

13. 問5-1) 身体拘束を行った理由についてお答えください。(複数回答可)*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 徘徊などのため隔離に協力が得られなかったため
- マスクなどの感染予防に協力が得られず、他入所者や職員への感染予防のため
- 認知症症状や行動・心理症状悪化により不穏などの症状がみられていたため
- 人手不足のため、身体拘束を行わないと重要なサービスを提供できないため
- その他: _____

14. 問5-2) どのような種類の身体拘束が行われましたか。(複数回答可) *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 鍵をかけるなど自分の意思で開けられない居室等に隔離する
- 行動を落ち着かせるために、普段より多い量の向精神薬を内服して頂く
- 車椅子や椅子、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る
- 自分で降りられないように、ベッドを柵(サイドレール)で囲む
- 車椅子や椅子から落ちたり立ち上がったたりしないよう、Y字型拘束帯や腰ベルト、テーブルをつける
- 手指の機能を制限するミトン型の手袋などをつける
- その他: _____

15. 問5-3) 身体拘束を行うにあたって、身体拘束が許容される要件(介護施設では切迫性・非代替性・一時性の三要件)について検討を行いましたか。施設の方針に最も当てはまるものを選んで下さい。 *

1つだけマークしてください。

- 検討する必要性が無いと判断した
- 検討する必要があると判断したが、時間や人手がない等の理由から検討を実施しなかった
- 検討は行ったが、記録には残していない
- 検討を行い、その内容を書面に記録した
- その他: _____

16. 問5-4) 身体拘束を行うにあたって、本人や家族等に説明や同意を行いましたか。施設の方針に最も当てはまるものを選んで下さい。 *

1つだけマークしてください。

- 本人に説明を行ったが、同意は得なかった
- 本人に説明を行い、同意を得た
- 本人に十分な理解力がないため、家族等に説明を行ったが、同意は得なかった
- 本人に十分な理解力がないため、家族等に説明を行い、同意を得た
- 至急身体拘束が必要となり、面会制限も行っていたため、本人にも家族等にも説明を行わなかった
- その他: _____

17. 問5-5) 身体拘束を実施するにあたって、対象となった認知症入所者の機能低下を緩和するための取組(例: 時間を決めた運動、身体拘束解除後の集中的なリハビリなど)を行いましたか。行った場合は詳細について教えて下さい。

18. 問5-6) 身体拘束を実施するにあたって、対象となった認知症入所者の機能低下を緩和するための取組を行いましたか。行った取組を選んで下さい。(複数回答可) *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 時間を決めて身体拘束を中断し、身体を動かせるようにしていた
- 身体拘束が解除された後、身体能力や必要な介護量の再評価を行った
- 身体拘束が解除された後、通常よりも多くのリハビリを実施した
- 特別な対応は行わなかった
- その他: _____

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した令和5年5月から現在までの期間において生じた影響について

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した令和5年5月から現在までの期間において起こった変化について、あてはまるものをお答えください。

- 19。 問6-1) 感染流行やクラスター等の影響によって他施設との連携に支障が生じたことはありましたか。当てはまるものを選んで下さい。(複数回答可) *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 他施設で起こったクラスターのため、自施設への入院・入所が遅れた・キャンセルされることがあった
- 自施設で起こったクラスターのため、他施設への入院・入所が遅れた・キャンセルすることがあった
- 他施設に応援に行った職員が感染することがあった
- 支障が生じたことはない
- その他: _____

- 20。 問6-2) 現在、継続的に実施している感染予防対策を選んで下さい。現在発生中の場合には、クラスターが発生する前の時期の感染予防対策についてお答えください。(複数回答可) *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 外出制限
- 家族・友人との面会制限
- 施設へのボランティア訪問の中止
- 施設内催し(子供の日など)の中止
- 集団リハビリ(集団体操など)の時間短縮/中止
- 個別リハビリの時間短縮/中止
- レク活動の時間短縮/中止
- 訪問歯科や訪問美容の中止
- 食事や入浴の時間・提供場所変更
- 共用スペースの利用制限/利用方法の変更(対面を避けるなど)
- 施設内での勉強会・研修会の中止
- その他: _____

- 21。 問6-3) 感染予防対策として、外出制限や面会制限など外部との交流を制限した施設にお尋ねします。これまで流行の波の間に制限を緩和しましたか。施設の方針に最も当てはまるものを選んで下さい。 *

1つだけマークしてください。

- 必要性はないと考え、検討しなかった。結果的に、長期的に外部との交流制限を実施していた
- 検討はしたが、緩和しなかった。結果的に、長期的に外部との交流制限を実施していた
- 地域の感染流行状況に応じて、外部との交流制限の緩和を行った
- その他: _____

- 22。 問6-4) 感染予防対策として、外出制限や面会制限など外部との交流を制限した施設にお尋ねします。状況に応じて制限を緩和することがありましたか。施設の方針に当てはまるものを選んで下さい。(複数回答可)

当てはまるものをすべて選択してください。

- 入所者の容態(例えば看取りが必要な時や急変時など)に応じて面会を認めた
- 介護認定調査員は受け入れた
- 成年後見人は受け入れた
- 必要性が高い病院受診をする場合は外出を認めた
- 緩和することはなかった
- その他: _____

23. 問6-5) 感染予防対策の結果として生じる入所者の日常活動制限による悪影響を防ぐために、どのような取り組みを行いましたか。(複数回答可) *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 家族・友人とのオンライン面会
 家族・友人との電話
 勤務体制調整(勤務時間を調節して手厚いケアを提供できるようにするなど)
 応援体制整備(職員不足時に他施設などから応援に来るなど)
 医師や看護師との相談
 関係機関等との情報共有・連携
 退所・退院しその後に通所もしくは訪問介護の提供
 特に行わなかった
 その他: _____

24. 問6-6) 現在実施している感染予防対策の結果として生じた日常活動制限によって(外出制限の結果、不穏が生じた、身体機能低下が生じたなど)認知症の方の状態に悪影響が生じたと考えますか。 *

1つだけマークしてください。

- はい(この後、重度、軽度・中等度の認知症の方それぞれについてどのような影響が生じたかお伺いします) 質問25にスキップします
 いいえ(問9-1に進みます)
 わからない(問9-1に進みます) 質問32にスキップします

重度認知症の方に生じた影響について

現在実施している感染予防対策の結果として生じた日常活動制限によって、貴施設入所中の重度認知症の方の状態に生じた影響についてお答えください。

以下の質問は、貴施設入所中の重度認知症の方の状態に生じた影響についてです。ここでは重度認知症とは認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲa、もしくはそれより重度の状態とお考えください。

25. 問7-1) 入所中の認知症の方のうち、重度と考えられる方のおおよその割合を教えてください。 *

1つだけマークしてください。

- 0% (重度の方はいない) ⇒この場合、問7-2～7-4はご回答頂く必要はございません。次のページにお進み下さい。
- 1～25% (おおよそ4人に1人以下)
- 26～50% (4人に1人よりは多いが半数よりは少ない)
- 51～75% (半数より多いが4人に3人よりは少ない)
- 76～100% (おおよそ4人に3人以上)

26. 問7-2) 感染予防対策の結果として生じた日常活動制限によって、重度認知症の方の状態に生じた影響についてお答えください。(複数回答可)

当てはまるものをすべて選択してください。

- 基本的日常生活動作 (ADL: 日常生活における基本的な移動や食事、更衣、排泄、入浴などの動作) の低下
- 認知機能の低下
- 行動心理症状の出現・悪化
- 身体疾患の悪化
- 興味・関心、意欲の低下
- 食欲の低下
- 身体活動量の低下
- 歩行機能の低下・転倒
- その他: _____

27. 問7-3) 重度認知症の方の状態に生じた影響のうち、最も多くの方にみられた影響を一つ選んでください。

1つだけマークしてください。

- 基本的日常生活動作（ADL：日常生活における基本的な移動や食事、更衣、排泄、入浴などの動作）の低下
- 認知機能の低下
- 行動心理症状の出現・悪化
- 身体疾患の悪化
- 興味・関心、意欲の低下
- 食欲の低下
- 身体活動量の低下
- 歩行機能の低下・転倒
- その他: _____

28. 問7-4) 前問で選んだ影響は、おおよそどのくらいの割合で入所している重度認知症の方にみられましたか。

1つだけマークしてください。

- 0～25% (おおよそ4人に1人以下)
- 26～50% (4人に1人よりは多いが半数よりは少ない)
- 51～75% (半数より多いが4人に3人よりは少ない)
- 76～100% (おおよそ4人に3人以上)

軽度・中等度認知症の方に生じた影響について

現在実施している感染予防対策の結果として生じた日常活動制限によって、貴施設入所中の軽度・中等度認知症の方の状態に生じた影響についてお答えください。

以下の質問は、貴施設入所中の軽度・中等度認知症の方の状態に生じた影響についてとなります。ここでは軽度・中等度認知症とは認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱb、もしくはそれより軽度の状態とお考えください。

- 29。 問8-1) 感染予防対策の結果として生じた日常活動制限によって、軽度・中等度認知症の方の状態に生じた影響についてお答えください。(複数回答可) *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 基本的日常生活動作 (ADL: 日常生活における基本的な移動や食事、更衣、排泄、入浴などの動作) の低下
- 手段的日常生活動作 (IADL: 料理や買い物などの家事、交通機関の利用、電話、服薬管理、金銭管理などの複雑な日常生活動作) の低下
- 認知機能の低下
- 行動心理症状の出現・悪化
- 身体疾患の悪化
- 興味・関心、意欲の低下
- 食欲の低下
- 身体活動量の低下
- 歩行機能の低下・転倒
- 入所中の認知症の方で軽度・中等度の方はいない
- その他: _____

- 30。 問8-2) 軽度・中等度認知症の方の状態に生じた影響のうち、最も多くの方にみられた影響を一つ選んでください。 *

1つだけマークしてください。

- 基本的日常生活動作 (ADL: 日常生活における基本的な移動や食事、更衣、排泄、入浴などの動作) の低下
- 手段的日常生活動作 (IADL: 料理や買い物などの家事、交通機関の利用、電話、服薬管理、金銭管理などの複雑な日常生活動作) の低下
- 認知機能の低下
- 行動心理症状の出現・悪化
- 身体疾患の悪化
- 興味・関心、意欲の低下
- 食欲の低下
- 身体活動量の低下
- 歩行機能の低下・転倒
- その他: _____

31. 問8-3) 前問で選んだ影響は、おおよそどのくらいの割合で入所している軽度・中等度認知症の方にみられましたか。 *

1つだけマークしてください。

- 0～25% (おおよそ4人に1人以下)
- 26～50% (4人に1人よりは多いが半数よりは少ない)
- 51～75% (半数より多いが4人に3人よりは少ない)
- 76～100% (おおよそ4人に3人以上)

施設における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みについて

貴施設において新型コロナウイルス感染拡大予防のため、もしくは感染発生時を想定して行っている取り組みについてお答えください。

32. 問9-1) 新型コロナウイルス感染症予防として、現在どのような取り組みを行っていますか。(複数回答可) *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 感染対策委員会の設置
- 感染対応マニュアルの整備
- BCP(事業継続計画)の策定
- 陽性患者が発生した場合の対応シュミレーション
- 手引き等を活用した施設内での勉強会・研修会の開催
- 行政や学会などから提供された感染予防のための情報の共有と活用
- 外部研修への参加
- 職員の体調管理(毎朝の体温測定など)
- 職員が感染した場合の対応手順の検討
- 他医療機関との連携による感染対策の合同訓練など
- 他施設からの応援の受け入れに向けた検討
- 入所者の体調管理(毎朝の体温測定など)
- 新規入所者の一定期間の個室管理
- 業者の体調管理
- 施設内の衛生管理(アルコール消毒など)
- 頻繁な室内換気
- 感染予防器具(飛沫防止パネルなど)の設置
- ケアにおける標準予防策(手指衛生や適切な個人用防護具の着用など)の徹底
- 特になし
- その他: _____

- 33。 問9-2) 認知症入所者が感染し、徘徊などの行動・心理症状のため自室隔離が困難な場合の対応について検討していますか。最も当てはまるものを選んで下さい。 *

1つだけマークしてください。

- 検討していない
- 検討したが、早期の専門医療機関への入院以外の対応策は見つからなかった
- 身体拘束も含めて対応を行う
- 身体拘束は行わずに対応する
- その他: _____

- 34。 問9-3) 貴施設における感染予防の取組にあたり、以下の手引きやガイドライン等をご存知ですか。

1行につき1つだけマークしてください。

	知って いる	知らな かった
介護現場における感染対策の手引き	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症に対応する介護施設等の職員のためのサポートガイド	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
介護施設等における認知症の方に配慮した感染防止対策の工夫集	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

栄の上
夫集

35. 問9-4) 今後、貴施設で認知症入所者に感染が発生した場合、認知症を理由として専門医療機関への入院が断られたり、移送が困難になったりする可能性があると思いますか。 *

1つだけマークしてください。

- 大いにある
- ある
- ない
- まったくない
- 分からない

新型コロナウイルス感染症に対する長期的な取り組みについて

新型コロナウイルス感染拡大予防の取り組みは、今後長期にわたって必要になるとの意見もあります。このような状況において貴施設において検討している、もしくは回答者様が必要と考える取り組みについてお答えください。（自由記載）

36. 問10-1) 新型コロナウイルス感染症流行を通して、近隣施設との連携のあり方（例：相互応援態勢の構築など）や施設職員への個別支援（例：メンタルケアなど）、ICT導入（例：介護記録のIT化など）など業務面で大きく取り組んだことはありましたか。詳細も含めて自由記載形式でお答え下さい。

37. 問10-2) 今後、感染症に強い医療・介護システムを作っていくためには、どのような取組や支援があれば良いと思いますか。お考えをお聞かせ下さい。

回答者様についてお伺いします。

今回お伺いした内容について、さらにくわしい内容をお伺いするために、連絡させて頂く場合がございます。ご協力頂ける場合に、差し支えなければ、お名前、所属施設名、職種、御連絡先をご記入ください。ここでご記入頂いた回答者様の個人情報が公表されることはありません。

38. 問11-1) 回答者様のお名前について教えてください。(任意)

39. 問11-2) 回答者様の所属する施設名について教えてください。(任意)

40. 問11-3) 回答者様の職種について教えてください。(任意)

41. 問11-4) 電話番号もしくはEメールアドレスを教えてください。(任意)

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム